SORA
web magazine 2013.dec. vol.27

MALDIVES

モルディブ王道サファリ ナイトマンタに遭遇！

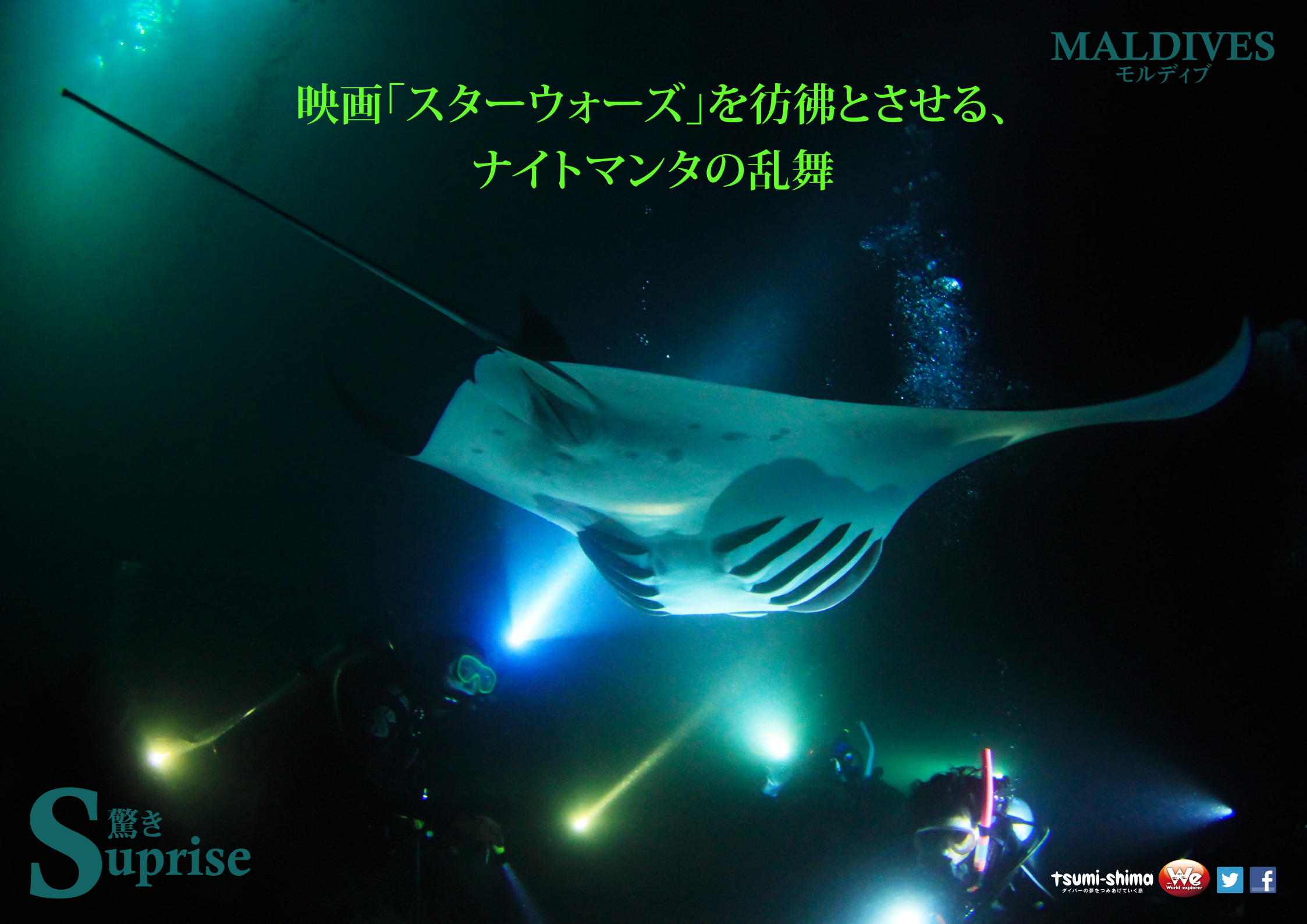
ジンベエザメ、マンタなどの大物遭遇で人気を集めるモルディブ、ダイブサファリ。
このサファリにナイトマンタが登場！　サファリの新しいメニューを紹介しよう。

MAP CLICK!

Photo & Text : Kentaro Hosoda

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島
tsumishima.com
We World explorer
(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp
© 2012
World Tour Planners Co.,Ltd.
All Rights Reserved.

映画「スターウォーズ」を彷彿とさせる、ナイトマンタの乱舞



驚き
Suprise

超接近！
ナイトマンタ

「おお、近い!」と思わず叫ぶほどの距離をマンタが通過していく。ナイトで見るマンタは、昼間とは全く距離感が違う。ぶつかりそうなくらいに近く、というよりもマンタが頭をこするほどに接近してきた。マンタがダイバーを意に返さず、接近する理由はプランクトンにある。ダイバーの持つ水中ライトの光源には、プランクトンがたくさん集まってくる。マンタはこのプランクトンを捕食するため、ギリギリまでダイバーに接近してくるのだ。水中ライトを上に向けると、まるで燃え盛るトーチのように先端にプランクトンの塊ができる。マンタは口をいっぱいに広げて、ダイバーたちの頭上をひっきりなしに旋回して、プランクトンを夢中になって食べているのだ。ダイバーの水中ライトが「スターウォーズ」のライトセーバーのように暗闇を切り裂き、巨大なマンタが飛び回る、映画のワンシーンのような光景が繰り広げられていた。潜る前にガイドの的場さんから「ナイトマンタはスターウォーズのような雰囲気になりますよ」と聞いていたが、想像以上のスターウォーズの世界にゲスト全員が歓喜の渦に包まれていた。

潜水時間が1時間を超え、ゲストがエキジットしていく。色とりどりのライトセーバーのような光がなくなり、宴の後のように水中はひっそりと静まり返る。僕は水中ライトを持たずに潜っていたので、船の後部デッキのライトがぼんやりと水中を照らすのみとなった。ライトに集まったプランクトンを、今度はマンタがぐるぐると回転しながら捕食している。青い光に照らされたマンタは、神秘的で美しく、いつまでも見ていたくなる気持ちになった。

海
Ocean

ジンベエ遭遇率ほぼ100%!
モルディブ・ダイブサファリ

MALDIVES
モルディブ

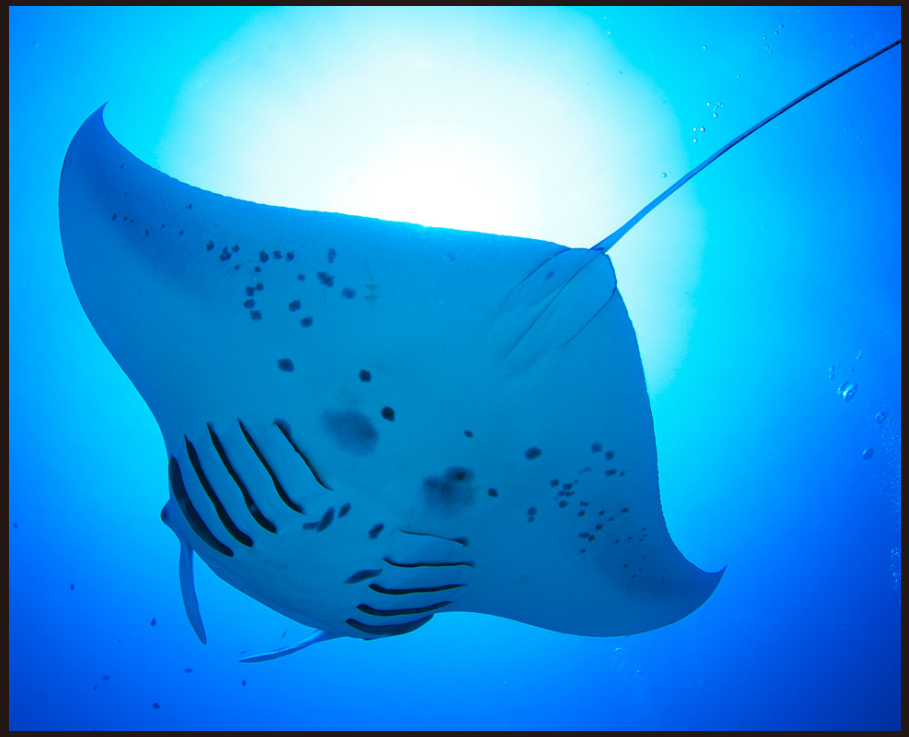
tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島
We World explorer

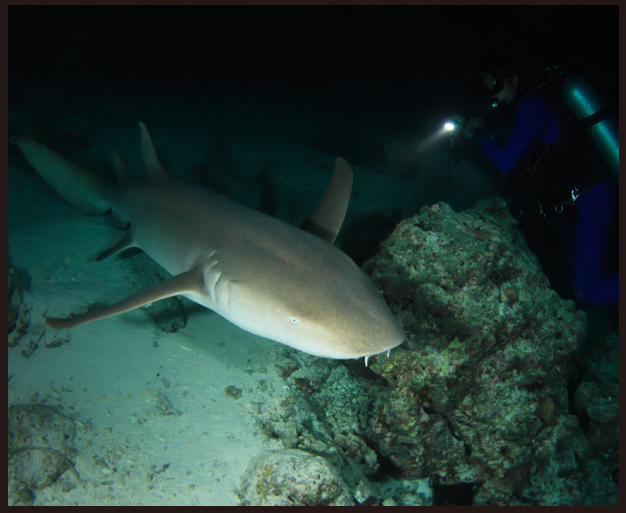
一日中、ジンベエザメに会えた日

MALDIVES
モルディブ

モルディブの王道サファリのコースでは、アリ環礁南部でジンベエサーチを行う。ボートの上からジンベエザメを探し、見つかったらスノーケリングでジンベエザメと泳ぐ。ジンベエがいればこれを何度か繰り返した後、今度はスクーバダイビングで遭遇を狙うというジンベエに特化したスタイルだ。今回の取材ではこれが大当たりで、ジンベエザメにトータルで約6時間という遭遇を果たした。ジンベエと泳いでボートに上がったら別のジンベエが見つかり、すぐにエントリーと息つく暇もないほど。また、移動速度が遅いジンベエとは、長時間一緒に泳ぐことができた。さらにスクーバでもジンベエと遭遇し、ジンベエザメ一色の一日だった。それだけこのエリアにはジンベエザメが多く集まってくるということだろう。実際、サファリではよほどの悪天候でジンベエサーチが困難でない限り、ほぼ100%の遭遇率を誇っている。アイランドサファリロイヤル号のガイド陣やクルーは、「ゲスト全員に必ずジンベエを見せる!」を合言葉に、ジンベエサーチに力を入れている。僕が何も判別できないような遠くにいても、彼らには見えるらしく「ジンベエ!　ジンベエ!」と叫んでいた。彼らの眼力の凄さは半端ではない。

王道サファリでは、大物以外にもモルディブの名だたる有名ポイントを潜る。イエローバックフュージュラーで視界がいっぱいになったり、カラフルなソフトコーラルで埋め尽くされた美しいポイントもある。毎日が変化に富んでいて飽きさせない素晴らしい海だ。リゾート滞在では限られたエリアのみを潜ることになるが、サファリでは環礁をまたいで、縦横無尽に潜りまくる。ガンガン潜りたい人には間違いなくお勧めなスタイルだろう。





Romance ロマンス

MALDIVES
モルディブ

サファリで最高の思い出作り

ダイビングのことだけを考えていられるサファリは、ダイバーにとって最高の船旅だろう。サファリボートは、ダイビング専用に設計されているので、快適なことこの上ない。大きなサファリボートでの移動がこれほど楽というのは、体験した人のみが分かる最高の贅沢と言える。特にサファリでは、面白いポイントを選んで潜るので、次から次へと変化する水中景観に目を奪われる。休憩中は次のポイントへの移動になるので、昼寝をするなどゆっくりと体を休めることができる。

サファリライフを通して、一緒に潜った他のゲストと仲良くなれるのもサファリのいいところ。船で寝食を共にするためか親密度が深まり、帰国後に他のエリアへ一緒に潜りに行ったという話を頻繁に聞く。ダイブサファリにリピーターが多いのも頷ける。まだサファリを体験したことがないという人は、ぜひ一度乗船してみていただきたい。きっと最高の思い出になることだろう。

行動 Action

MALDIVES
モルディブ

アイランドサファリロイヤル号で楽しむ、極上のダイビングライフ

今回の取材で乗船した「アイランドサファリロイヤル号」は、毎日のダイビングライフを快適に過ごすことができた。快適さの一番の理由は船が大きいこと。船内のスペースが広いため、部屋はもちろん、レストランやサロン、デッキなどの共用スペースまで余裕がたっぷりある。各部屋はエアコン、冷蔵庫、シャワー、トイレが備えられている。さらにデラックスルームにはソファ、スイートルームにはバスタブまでがある充実ぶりだ。また後部デッキ、トップデッキには、ウッドチェアが備えてあり、海を眺めながら食事をとったり、ゆっくり昼寝をすることもできる。カメラ置き場や充電スペースもあり、カメラ派の使い勝手もいい。

ダイバーのための究極のサファリボートと言っても過言ではない「アイランドサファリロイヤル号」は、設備といったハード面だけでなく、ガイド陣もレベルが高い。サファリ歴5年のガイド的場さん、モルディブ人ベテランガイド、マウルーフさんが的確なガイドでゲストを楽しませてくれる。ボートのクルーも日本人ゲストに慣れているので、とても親切にサポートしてくれる。ナイトマンタという新たな楽しみが加わったことでダイブサファリはさらに盛り上がりを見せている。昼間のマンタとは全く違う感動を味わってみてはいかがだろうか。

Information

●国名：モルディブ共和国 ●ビザ：30日以内の観光目的であれば、到着時に無料でビザが発給される。●パスポート：パスポートの有効残存期間は滞在日数以上が必要。●言語：ディベヒ語。リゾートでは英語が通じる。●通貨：モルディブ・ルフィア（Rf）。サファリボートでは、US＄のキャッシュもOK。●時差：日本よりマイナス4時間。日本が正午の時、モルディブは同日の午前8時。●電圧：220～240v/50Hz。プラグはBFタイプ。●水：ミネラルウォーターの飲用を。●アクセス：日本からモルディブの首都マーレへは、スリランカ航空のコロンボ経由、シンガポール航空のシンガポール経由、マレーシア航空のクアラルンプール経由などがある。マーレ空港到着後、隣接する桟橋からドーニと呼ばれる小型船に乗り、停泊しているサファリボートへ乗船する。●シーズナリティ：雨季が５月～10月頃、乾季は11月～４月頃の２シーズンに分かれる。乾季は晴れの日が多くなり、透明度がアップし、30mくらい抜けることもしばしば。乾季のシーズンは潮の流れが速くなるのでやや注意が必要。

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島
We World explorer